

荷 姿

荷 姿		標準施工可能面積
(主 剤) 4kg/缶 (硬化剤) 0.8kg/缶	4.8kg/セット	48m ² /セット
(主 剤) 15kg/缶 (硬化剤) 3kg/缶	18kg/セット	180m ² /セット

注意事項

〈使用上の注意〉

- ①火気のあるところでは使用しないでください。火気を近づけないでください。
 - ・EPプライマーは、消防法の危険物第4類第2石油類の引火性液体に該当します。
 - ・火気、電気スパークなどにより火災・爆発をおこす原因となります。
 - ・樹脂は開封のまま放置しないでください。有機溶剤の蒸発による樹脂品質の変化、直射日光の暴露による樹脂の変質、ゲル化の原因となります。
 - ・配合は、当社の指示された方法に従ってください。
- ②樹脂の揮発性蒸気を吸わないでください。
 - ・労働安全衛生法の第2種有機溶剤に該当する成分が含まれています。
 - ・蒸気吸入すると有機溶剤中毒、その他の健康傷害を起す恐れがあります。
 - ・取扱い中は換気をよくし、蒸気を吸いこまないようにしてください。
 - ・必要に応じて有機ガス用マスクまたは送気マスクを着用してください。
 - ・取扱い作業所には局所排気装置を設けてください。
- ③樹脂に直接接触したり、口に入れたりしないでください。
 - ・開封時や樹脂投入時には樹脂のこぼれ、異物混入に十分注意してください。また、硬化剤については強酸、アミン類、金属、その他還元剤や促進剤などの異物混入を避けてください。さらに強烈的な衝撃、摩擦も避けてください。
 - ・皮膚に長時間接触すると、皮膚炎をおこす原因となります。
 - ・眼に入ると角膜障害をおこす原因となります。
 - ・取扱い中は皮膚にふれないようにし、保護眼鏡、保護手袋を着用してください。
 - ・取扱い後は手洗いを十分に行ってください。
 - ・作業終了後は清掃を履行してください。

〈応急処置〉

- ①目に入った場合
 - 直ちに清浄な流水で最低15分間洗眼した後、眼科医の手当を受けてください。
- ②皮膚に付着した場合
 - 付着部分を拭き取り、その後石鹸を用い水もしくは温水で付着部分を良く洗い落としてください。
 - 皮膚に炎症が生じた場合、速やかに医師の手当てを受けてください。
- ③ガスを吸入した場合
 - 吐き気等の自覚症状が起こった場合、直ちに新鮮な空気にあたる場所に移動し、毛布等で保温して安静にしてください。状態がわるければ速やかに医師の手当を受けてください。
- ④樹脂を飲み込んだ場合
 - 水で口の中を良く洗い、直ちに医師の診断を受けてください。無理に吐き出さないようにしてください。

〈漏出時の注意〉

漏出した場所の周辺にはロープを張り、人の立ち入りを禁止してください。付近の着火源を取り除き、消化器材を準備してください。少量の場合はウエス等に吸収させて、空容器に回収してください。大量の場合には流路を盛土などで囲って流出を防止し、火花の出ないシャベル等で密閉出来る容器にすくい取ってください。流出、その他の事故が発生した時は、警察署、消防署等の関係機関に連絡してください。

〈火災が発生した場合〉

- ①消火方法
 - 火元への燃焼減を断ち、消火剤を使用して風上から消火してください。消火作業の際には必ず保護衣を着用するほか、状況によっては不浸透性手袋、有機ガス用防毒マスク等の保護具を着用してください。
- ②消火剤
 - 泡、二酸化炭素、粉末、乾燥砂

〈保管上の注意〉

- ①直射日光下や高温の場所に保管しないでください。20℃以下の冷暗所に保管してください。
- ②使用時以外には必ず適法な施設内に保管してください。
- ③倉庫以外に保管する場合には、必ず子供の手の届かない所定場所に保管してください。
- ④火気厳禁にしてください。火気、静電気、衝撃火花などの着火源により、火災、爆発の原因となります。
- ⑤樹脂性能確認のために、定期的にゲル化時間を調べてください。
- ⑥ご購入された製品は、冷暗所に保管し製造から1年以内にご使用ください。また、開封後はなるべく早くお使いください。

〈廃棄上の注意〉

廃棄する場合は、産業廃棄物として法令に従い処理してください。専門業者に処理を委託することをお勧めします。

〈輸送上の注意〉

- ①包装容器が破損しないように積載し、荷崩れの防止を確実に行ってください。
- ②日光の直射を避けてください。
- ③消防法、道路輸送車両法、船舶安全法、港則法を遵守してください。

性 状

品 名	EPプライマー(主剤)	EPプライマー(硬化剤)
組 成	アクリル系樹脂	エポキシ系樹脂
外 観	淡黄色透明	無色～淡黄色透明
有効成分	40±2%	75±2%
粘 度(25℃)	650±200mPa·s	65±15mPa·s

このカタログの記載内容は'19.7月現在のものです。製品改良のためにことわりなく仕様変更する場合がありますのでご了承ください。カタログに記載の数値は標準値であり、保証値ではありません。安全上の注意事項の詳細については別途、安全データシート(SDS)をご参照ください。

昭和電工建材株式会社

■本社・建設資材営業部

〒221-8517
横浜市神奈川区恵比須町8
TEL(045)444-1691
FAX(045)444-1699
<http://www.sdk-k.com/>

■仙台営業所	〒983-0841	仙台市宮城野区原町3-7-14	TEL(022)742-5077	FAX(022)291-1911
■名古屋営業所	〒460-0008	名古屋市中区栄3-11-23	TEL(052)249-3151	FAX(052)249-3152
■大阪営業所	〒532-0011	大阪市淀川区西中島6-5-3	TEL(06)6100-2202	FAX(06)6100-1232
■福岡営業所	〒812-0025	福岡市博多区店屋町5-22	TEL(092)281-9881	FAX(092)281-9885
■関東SCMセンター	〒120-0024	足立区千住閑屋町1-4	TEL(03)3881-5001	FAX(03)3870-3952
■東北SCMセンター	〒983-0034	仙台市宮城野区扇町1-7-2	TEL(022)231-2070	FAX(022)231-2073
■中部SCMセンター	〒452-0837	名古屋市中区十方町172	TEL(052)501-2421	FAX(052)501-2424
■関西SCMセンター	〒567-0058	茨木市西豊川町14-3	TEL(072)641-6399	FAX(072)641-6401

【ISO 9001 品質マネジメントシステム登録事業所】